

(仮称)新医療センターの主な機能

循環器センター

心筋梗塞や心不全は致死率の高い病気です。さらに解離性動脈瘤などは緊急の外科的手術以外では救命できません。このような心臓疾患全般にわたる急性期治療を、循環器内科と心臓外科の医療チームが一体となって取り組んでいきます。

施設には、心臓疾患集中治療室(CCU)に隣接して血管撮影室があり、救急車で搬送された患者さんの閉塞した冠動脈を直ちにカテーテルで開通したり、その後の血流を保持するための血管内ステント(コイル)の植え込みなどが実施されます。また、手術が必要な患者さんを病棟から手術室へつなぐ連絡通路によって直ちに移動できるよう

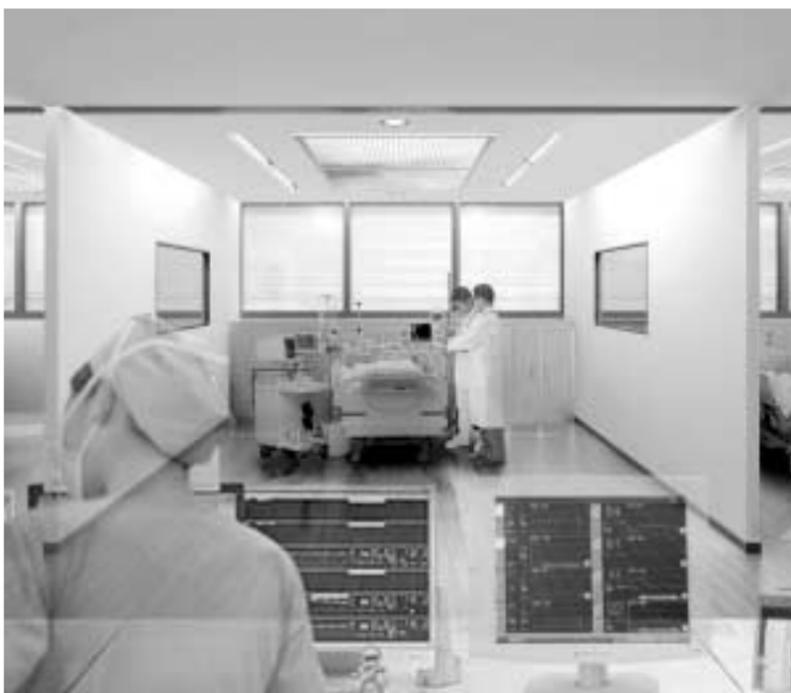
脳卒中(ストローク)センター

になります。

脳卒中とは脳梗塞や脳出血など全ての脳血管障害を含む病気の総称です。脳血管障害は急性期治療がその予後を大きく左右します。

センターに設置される脳血管障害集中治療室では、様々な神経所見の変動を早期に捉え、症状の進行を抑えるための治療を専門医と関連部門が一体となって行います。

発症後に起きた四肢の麻痺、失語などに対しては、病気の初期からベッド上で直ちにリハビリテーションが開始されます。また、ベッドサイドでの急性期運動リハビリテーションが可能で設備も用意されます。



ICU・CCUイメージ



透析治療室イメージ

このように全てに先手を打った専門的な治療が総合的に展開されます。

腎臓センター・透析治療室

糖尿病の進行により腎機能が悪化し、透析治療が必要となる患者さんが増えています。新たに透析治療を受けられる患者さんだけでなく、脳卒中や心臓疾患などの合併症を併発している長期透析患者さんにも対応できる透析施設として整備します。

(仮称)小児夜間救急センター

市立病院に隣接した場所あるいは敷地内に、小児患者の時間外診療所を設け、応急的な処置としての一次医療と、入院などの必要な二次医療を連続して行うことは、これまで草加市が考



草加八潮医師会医師による小児救急診療

5F	研修施設 院内保育施設
4F	腎臓センター・透析治療室 (透析ベッド40床)
3F	脳卒中センター (集中治療室12床)
2F	循環器センター (集中治療室8床)
1F	(仮称)小児夜間救急センター、救急部門、 (仮称)救急ステーション

■(仮称)新医療センター建築概要
 建築面積：1,165.96㎡
 延床面積：4,956.89㎡
 構造：鉄骨造
 階数：地上5階



救命率の向上を目指して

(仮称)救急ステーション

草加市消防本部では(仮称)新医療センター内に設置される(仮称)救急ステーションに救急隊と高規格救急車1台を配置します。市立病院周辺地域からの救急通報から現場到着までの時間短縮と救命率の向上を目指



院内保育室イメージ

院内保育室

市立病院で働く医療スタッフの0歳から3歳児までの乳幼児を預かる施設です。医療スタッフは勤務時間が不規則であることから、個々の勤務時間に対応できる保育施設の整備が必要とされてきました。

全国的に医師・看護師不足が深刻化していますが、市立病院では女性スタッフが出産後も子育てをしながら安心して勤務を続けられるよう支援していきます。



脳神経外科部長 新井 俊成

救命後の機能回復のために

脳卒中は高齢者に限った病気ではありません。当院では年間400例に達する脳卒中患者さんを受け入れています。40歳から50歳代までの方が全体の約15%を占めます。予想外に若い患者さんの存在に、ショックを受けるスタッフもいますが、それだけに救命後の言葉や四肢の機能回復が極めて重要となります。

は、脳卒中治療専用ベッドであり、医師、看護師、リハビリ科などの専属スタッフが担当します。ここの治療成績は従来の一般病棟での治療に比べれば、生命・機能予後など全てにおいて優れています。くも膜下出血は緊急の外科治療を必要としますが、その後の機能の回復にはリハビリや栄養管理など患者さんの総合的管理が大切です。当院では新しい試みとして、集中治療室内に発症後早期からリハビリを行えるスペースを設け、迅速な機能回復が図られるよう取り組んでいきます。

担当専門医の声

現在日本は世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでいます。今後10年で団塊の世代が後高齢者の仲間入りをするに、心筋梗塞、不整脈、心不全など循環器疾患の治療管理がますます重要になってくると思います。

心臓外科と連携した治療を

循環器科部長 土信田 伸夫

施設で、日夜時間を問わずいつでも患者さんを受け入れ、あらゆる治療を迅速に提供できる施設です。病室(CCU)に隣接した血管撮影室では冠動脈疾患に対する心臓カテーテル治療が可能で、バイパス手術など緊急に手術が必要と判断された方は、そのまま同階にある手術室に移動することができます。

草加市民の救命を第一義として、安心で充実した長寿社会を形成する一翼を担えるよう、スタッフ一同精進を重ねていきたいと思っています。

